

徳島駅周辺のまちづくりに向けた意見交換会

(県都魅力度アップ推進ワーキンググループとの連携)

日時：令和５年９月２５日（月）

午前１０時～

場所：徳島県庁１１階１１０１会議室

次 第

１ 開会

２ 開会挨拶

３ 議事

１）現状報告

２）課題についての情報共有、意見交換

県都魅力度アップ推進ワーキンググループ

徳島県と徳島市の連携の場として、実務者によるワーキンググループを設け、徳島新時代にふさわしい県都の魅力度向上を推進し、ハード・ソフトの両面から未来に引き継げる良いレガシーを備えた開かれた徳島を創造する。

ハード面・向上

- ・ 徳島駅北口・北側開発
- ・ 新ホール整備
- ・ 食品衛生の更なる向上
(中央卸売市場整備等)
- ・ アリーナ整備
- ・ ホテル誘致、改修
- ・ 動物公園跡地活用
- ・ 誘客・回遊性を高める街づくり
- ・ 既存ストック（アミコ等）の集客力向上
- ・ シャッター通り、空き家・空き地対策

課題

- ・ コロナ禍による街のにぎわい喪失
- ・ 文化、スポーツ、MICEニーズに応えられる施設の不足
- ・ 施設の老朽化
- ・ 県と市の所管行政の狭間
- ・ 県外・海外客の印象を決める玄関口たる県都の魅力
- ・ 万博、LCC・国際路線を見据えた戦略の構築

ソフト面・向上

- ・ グルメコンテンツ（食・酒）、文化コンテンツ（阿波踊り・アニメ等）の磨き上げ、発信力向上
- ・ 徳島駅周辺を拠点とした市内街歩き
- ・ 徳島市を拠点とした県内周遊導線の構築
- ・ 「徳島イン、県外アウト」、「県外イン、徳島アウト」導線の構築

注：政策創造部、未来創生文化部、商工労働観光部、農林水産部、県土整備部から参画（各部ヘッドは副部長・次長クラスを想定）。県庁内の全体とりまとめは政策監補。

※県と市の役割分担については、共通認識を図った上で、各般の施策を連携して進める。

出席者一覧

所属・役職等	氏名
徳島県 政策監補	村上 耕司
徳島県 県土整備部長	松野 秀生
徳島県 県土整備部次長	赤堀 良信
徳島県県土整備部 都市計画課長	谷川 健治
徳島県県土整備部 次世代交通課副課長	中本 雅清

所属・役職等	氏名
財務省四国財務局 徳島財務事務所長	河野 茂樹
国土交通省四国地方整備局 徳島河川国道事務所長	関 健太郎
四国旅客鉄道株式会社 総合企画本部担当部長	新居 準也
四国旅客鉄道株式会社 総合企画本部担当課長	永易 雅志

徳島県及び周辺府県における実質GDP・人口

資料2



日本人観光宿泊客数と観光地点の関係

日本人観光宿泊客数を増加させる観光地点は、
自然、歴史・文化、スポーツ・レクリエーション。
イベント頼みの誘客はマイナスに働くおそれ。

観光地点等	係数	有意差
イベント	<u>-12.3</u>	***
自然	<u>14.7</u>	***
歴史・文化	<u>16.2</u>	***
温泉・健康	1.5	
スポーツ・ レクリエーション	<u>34.3</u>	***
都市型観光	<u>-36.9</u>	***
その他	<u>-30.9</u>	***

外国人観光宿泊客数と観光地点の関係

外国人観光宿泊客数を増加させる観光地点は、
歴史・文化。
イベント頼みの誘客はマイナスに働くおそれ。

観光地点等	係数	有意差
イベント	<u>-2.3</u>	***
自然	1.3	
歴史・文化	<u>10.8</u>	***
温泉・健康	-2.4	
スポーツ・ レクリエーション	2.3	
都市型観光	-1.1	
その他	0.8	

注：全国観光入込客統計の平成28～平成31年・令和元年の都道府県別データを元に重回帰分析。有意差における「***」は、 $p<0.01$
 係数の単位は、千人回。「都市型観光」は、郊外ショッピングセンターなど。「その他」は、道の駅など

徳島県観光客の消費単価は低位。観光の質（宿泊・土産・飲食など）を高める必要。

	日本人（県外）宿泊客	日本人（県外）日帰り客	外国人宿泊客
徳島県	22,118円（31位／37）	6,400円（25位／37）	27,547円（24位／36）
全国平均	27,105円	7,353円	32,488
平均との差	4,987円	953円	4,942円

注：全国観光入込客統計の平成31年・令和元年の都道府県別データより。「消費単価」は、交通費、宿泊費、土産代、飲食費、
 入場料など

四国各県の地価公示（１月１日調査、国が実施）

資料 4

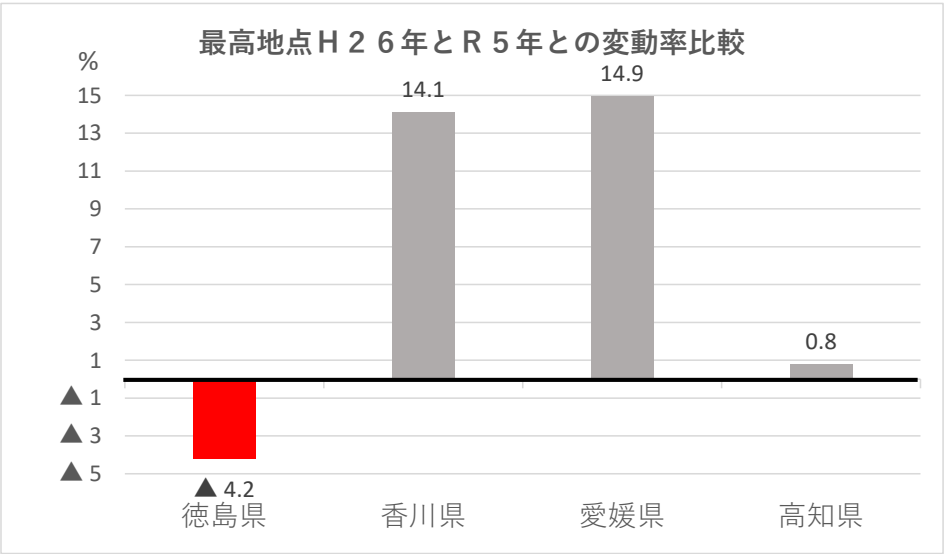
上段：地価（円／㎡）

下段：対前年変動率（％）

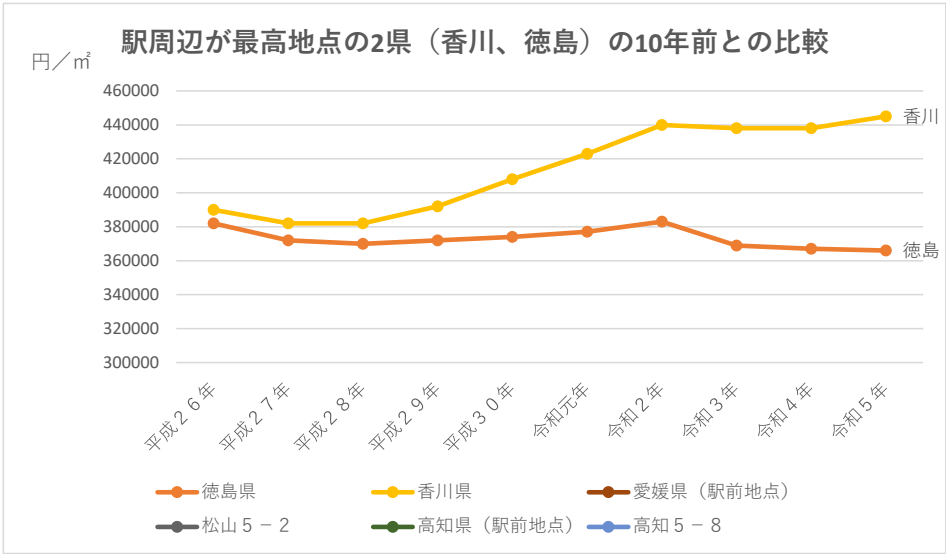
○各県の地価が一番高い地点の推移（最高地点推移）

標準地番号	所在地及び地番 住居表示	平成２６年	平成２７年	平成２８年	平成２９年	平成３０年	令和元年	令和２年	令和３年	令和４年	令和５年	R5-H26
徳島県 徳島５－１	徳島市一番町３丁目２４番	382,000 ▲ 4.5	372,000 ▲ 2.6	370,000 ▲ 0.5	372,000 0.5	374,000 0.5	377,000 0.8	383,000 1.6	369,000 ▲ 3.7	367,000 ▲ 0.5	366,000 ▲ 0.3	▲ 16,000 ▲ 4.2
香川県 高松５－１	高松市磨屋町２番６外	390,000 ▲ 4.4	382,000 ▲ 2.1	382,000 0.0	392,000 2.6	408,000 4.1	423,000 3.7	440,000 4.0	438,000 ▲ 0.5	438,000 0.0	445,000 1.6	55,000 14.1
愛媛県 松山５－１	松山市大街道２丁目４番１３	723,000 ▲ 2.2	730,000 1.0	752,000 3.0	769,000 2.3	786,000 2.2	803,000 2.2	821,000 2.2	821,000 0.0	821,000 0.0	831,000 1.2	108,000 14.9
高知県 高知５－１２	高知市帯屋町１丁目１７０番外 「帯屋町１－９－７」	258,000 ▲ 2.3	256,000 ▲ 0.8	255,000 ▲ 0.4	255,000 0.0	256,000 0.4	261,000 2.0	269,000 3.1	264,000 ▲ 1.9	260,000 ▲ 1.5	260,000 0.0	2,000 0.8

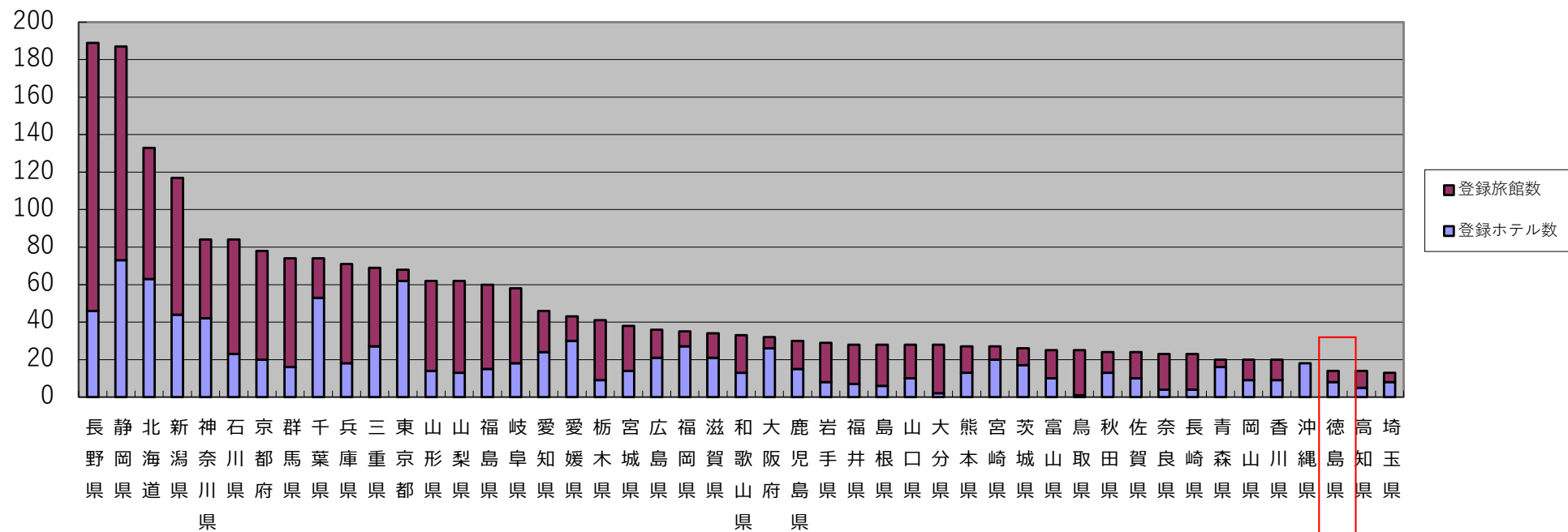
○四国他の３県は１０年前と比較して上昇している



○この１０年位で駅前開発が進む香川県の地価と差がついている



資料5



徳島県の宿泊施設増加に向けた取組

資料 6

1. 本県の宿泊施設の現状

旅館・ホテル営業の施設数 (厚生労働省：衛生行政報告例)	H29：535施設 → R元：506施設 → R3：466施設
旅館・ホテル営業の客室数 (厚生労働省：衛生行政報告例)	H29：9,686室 → R元：9,632室 → R3：9,519室
県内延べ宿泊者数 (観光庁：宿泊統計)	(県全体) R元：257万人泊 → R4：184万人泊 (R元比回復率：71.6%) (徳島市) R元：71万人泊 → R4：43万人泊 (R元比回復率：60.1%) ※徳島市は毎月公表される速報値の積上
客室稼働率 (観光庁：宿泊統計)	(県全体) R元：52.0% → R4：43.9% (R元比回復率：84.4%) (徳島市) R元：72.4% → R4：59.4% (R元比回復率：82.0%) ※徳島市は毎月公表される速報値の平均
近年の宿泊施設新設の動き (新聞報道等より・一部)	(徳島市) ・ R5.7 「眉山海月」一部客室プレオープン ・ R7春 「ホテル白水園」立替予定 (他市町) ・ R3.2 「HOTEL AZ 徳島小松島店」オープン ・ R3.7 「スーパーホテル徳島・小松島」オープン ・ R5.8 「ホテルルートイン徳島空港-松茂スマートインター」オープン ・ R5.10 「HOTEL AZ 徳島板野店」オープン予定

徳島県の宿泊施設増加に向けた取組

2. 県の取組

○ 宿泊施設リノベーション支援事業（H30年度～R4年度）

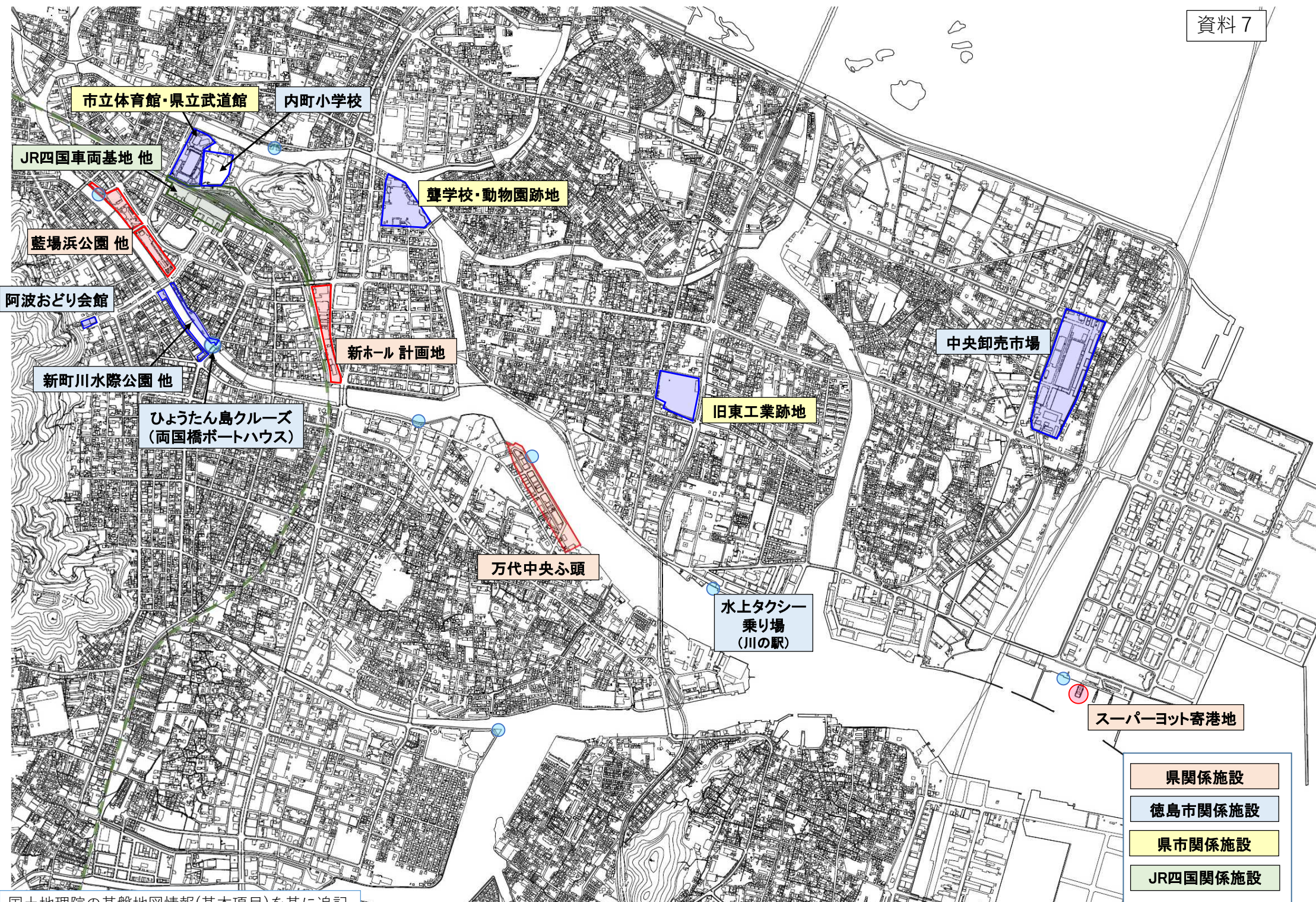
- 【対象】 ・ 客室増改築 福祉避難所指定有：補助率 1/2以内、上限2,000万円
福祉避難所指定無：補助率 1/4以内、上限1,000万円
・ 魅力向上につながる改修、入浴施設の新設等：補助率 1/6以内、上限500万円（要福祉避難所指定）
【実績】 5年で14件（うち、徳島市5件）の支援

○ 宿泊事業者による感染防止対策等支援事業補助金（R3年度）

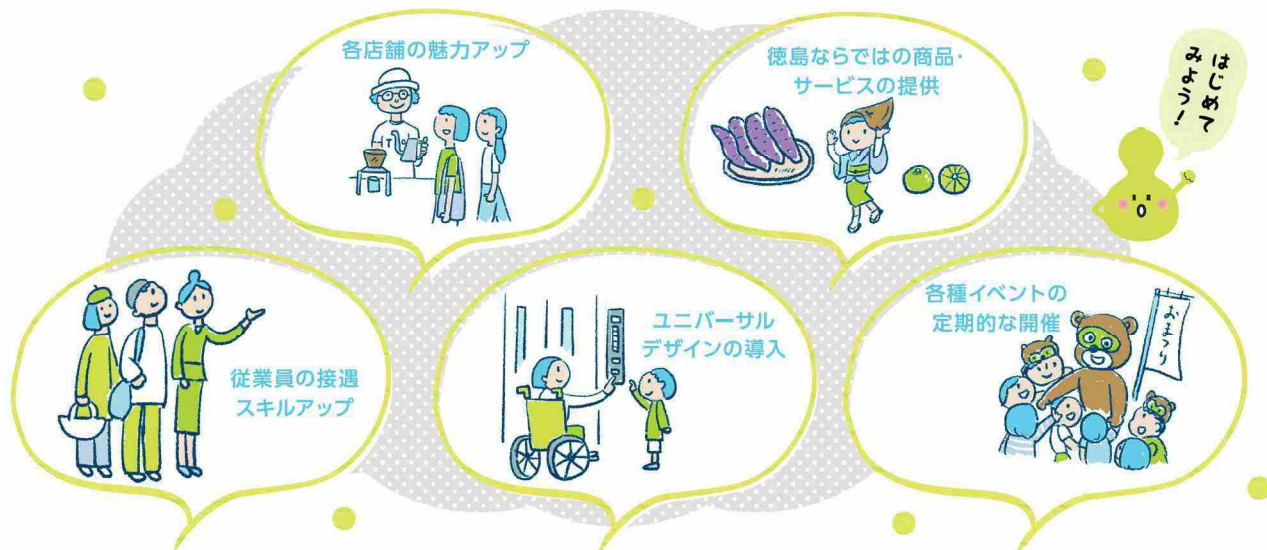
- 【対象】 ・ 感染症対策に資する物品の購入：補助率 1/2以内、上限500万円
・ 前向き投資：補助率 3/4以内、上限750万 ※R3.7月以前は、補助率 1/2以内、上限500万円
例）マイクロツーリズム、ワーケーション等に対応したコンテンツ開発、
施設改修や非接触チェックインシステムの導入等、新たな観光需要に対応するための取組
【実績】 119件（うち、徳島市34件）の支援

○ 旅行者受入環境ブラッシュアップ事業補助金（R5年度）

- 【対象】 ・ 客室増改築 福祉避難所指定有：補助率 1/2以内、上限1,000万円
福祉避難所指定無：補助率 1/4以内、上限500万円
・ インバウンド周遊に資する受入環境整備：補助率 1/2以内、上限300万円
例）多言語案内設置、キャッシュレス、Wi-Fi、バリアフリー・ストレスフリー化対応等
→8月末まで事業計画書受付中



一人の100歩より、100人の一歩。できることから、はじめてみよう。



徳島市は皆さんのチャレンジを応援します!!

市民の皆さんを支援

「徳島市市民活力開発センター」が
「徳島市まちづくり協働プラザ」としてリニューアルオープン

徳島市市民活力開発センターは、NPOをはじめとする市民活動の活性化を目的として設置された組織で、市民活動に関する相談支援や情報提供、人材育成のための講座・研修、団体間の交流促進などを行っています。

同センターは令和4年春からアミコビルに移転し、「徳島市まちづくり協働プラザ(通称:まちプラ)」としてリニューアルオープンします。何か活動をしてみたい、一緒に活動できる仲間を作りたいなど、市民活動に興味・関心がある方は、ぜひ一度お立ち寄りください!

まちプラを
ぜひ活用して
ください

1. 情報提供…市民活動に関するイベントや助成金などの情報提供を行っています。
2. 相談支援…NPO法人の設立や組織運営、活動への参加等、市民活動に関する相談に応じています。
3. 講座・研修…団体運営に必要な知識を得るため、テーマを設けた講座等を開催しています。
4. 交流・連携…団体・学生・企業・行政など異なった分野間の交流の場を設けています。
5. 各種貸出…市民活動団体などに対して会議室や各種機材等の貸し出しを行っています。

事業者の皆さんを支援

徳島市産業支援交流センター

産業支援交流センターは、産業育成や新たな事業創出、利用者相互の交流促進等を目的として、アミコビル1階・9階に設けられた産業振興施設です。

同センターでは、専門家などによる無料の経営相談も定期的に行われています。



ショールーム
木工や藍染などの地場産品を展示・販売しているショールームです。



コワーキングスペース
徳島で働く人が集い、仕事をするコワーキングスペースです。

徳島市 SDGs
公民連携
プラットフォーム

徳島市は、持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています



民間企業等が持つ資源(アイデア、ノウハウ、ネットワーク、資金等)と市の政策課題や連携ニーズを結び付け、公民連携により地域の課題を解決するため、連携協定の締結に向けたワンストップ窓口「徳島市SDGs公民連携プラットフォーム」を開設しています。

ワンストップ窓口

徳島市企画政策課
徳島市幸町2-5市役所8階
☎088-621-5085



新規出店・
商店街・
イベント



徳島市では、ほかにも中心市街地活性化に向けた事業活動の支援として、新規出店への助成や商店街の活性化、各種イベントの開催などに取り組んでいます。

なお、助成内容は毎年の予算により変動しますので、徳島市公式サイトから最新情報をご確認ください。

各種助成金などの
支援情報はこちら



「わくわく実感! 水都とくしま」の創造 2022⇒2026

TOKUSHIMA

徳島市 中心市街地活性化 基本計画

ダイバーシティ&イノベーション

人と人がつながり、新たな挑戦や投資が生まれる街。



徳島市中心市街地活性化基本計画の概要

中心市街地を取り巻く課題

課題1

都市のランドマークの喪失

商業施設や文化施設の閉館が相次いだことによって、本市の中心市街地では集客の核となるランドマーク施設が減少し、求心力のある魅力的な都心が形成されていません。

課題2

商業需要を底上げする集客要素の必要性

かつての中心市街地は買い物をする場所としてにぎわっていましたが、郊外に数多くの大型商業施設が立地する中、本市の特性を生かした商業需要を底上げする集客要素が求められています。

課題3

まちなか労働人口の減少

本市の従業者の多くを占める卸売業・小売業について、中心市街地での縮小が続いており、それに伴って中心市街地で働く人数も減少傾向にあります。

課題4

面的な人の広がりへの欠如

中心市街地には観光施設などの集客拠点が点在していますが、拠点間を結ぶ動線上に散策を促す仕掛けが乏しく、まちのにぎわいづくりにつながっていません。

課題5

歩いて暮らせる環境の不十分さ

自家用車への依存度が高い本市においては、加速する少子高齢化の流れを踏まえて、歩いて暮らせるまちづくりの重要性がますます高まっています。

中心市街地活性化に向けた基本方針

中心市街地を取り巻く環境が大きく変化する中、街の特性を生かしつつ、様々な人と人がつながり、その中から新たな価値やサービスが創造される環境を作り上げていくことが重要です。

そのため、多様な人々がまちづくりに参画する「ダイバーシティ（多様性）」と、先端技術などを導入しながらこれまでになかった価値を創造していく「イノベーション（創造性）」を、本計画におけるキーコンセプトとし、新たな挑戦や投資が生まれる街を目指した取組みを進めます。

人と人がつながり、
新たな挑戦や投資が生まれる街。

ダイバーシティ
多様性
キーコンセプト
イノベーション
創造性

方針1

街へ行きたくなる“場面”づくり(来街者数の増加)

方針2

街を巡りたくなる“動線”づくり(回遊者数の増加)

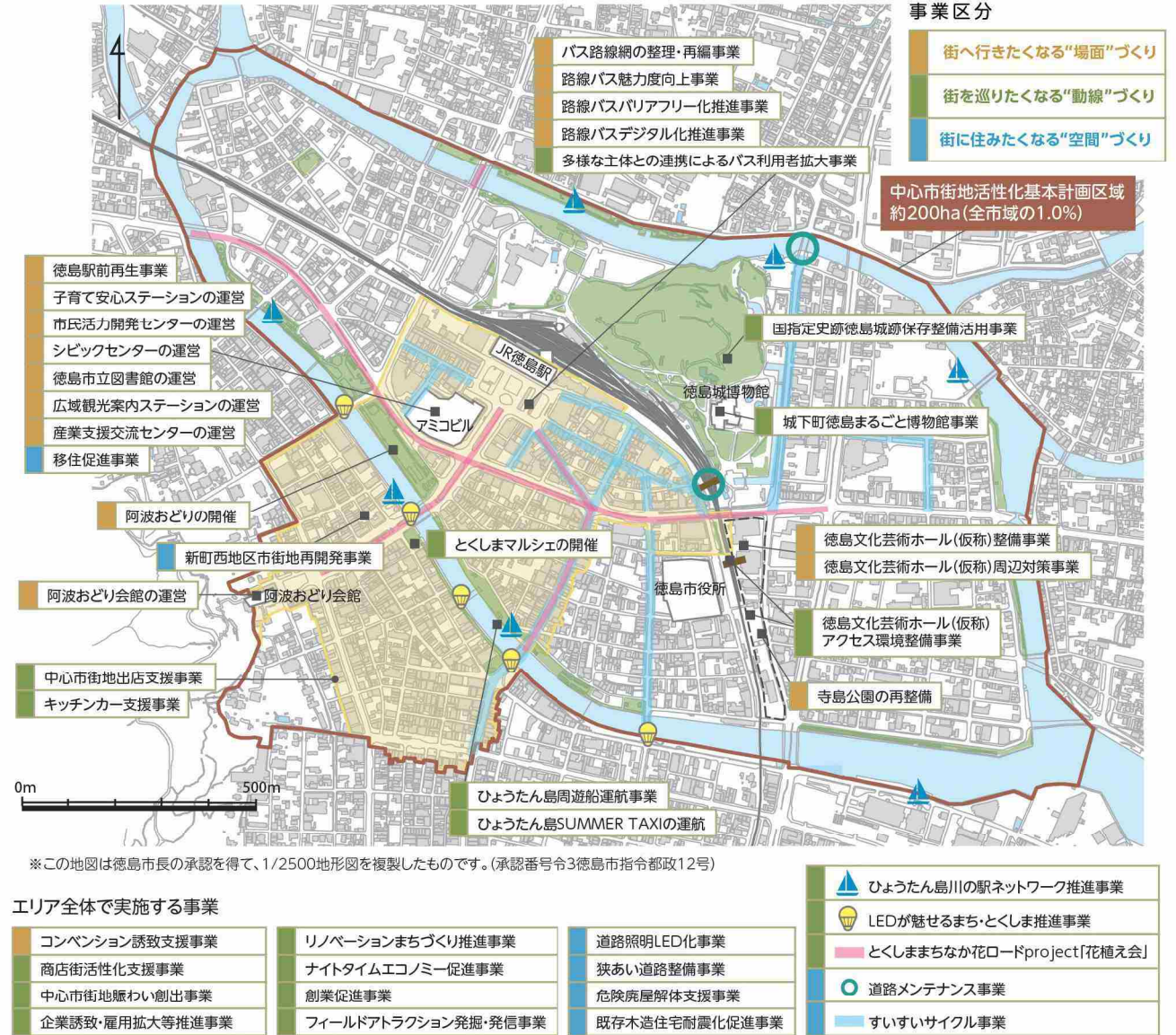
方針3

街に住みたくなる“空間”づくり(居住者数の増加)

将来像

水都とくしま
わくわく実感！

計画区域及び主な事業の実施箇所



エリア全体で実施する事業

コンベンション誘致支援事業	リノベーションまちづくり推進事業	道路照明LED化事業
商店街活性化支援事業	ナイトタイムエコノミー促進事業	狭い道路整備事業
中心市街地賑わい創出事業	創業促進事業	危険廃屋解体支援事業
企業誘致・雇用拡大等推進事業	フィールドアトラクション発掘・発信事業	既存木造住宅耐震化促進事業
		ひょうたん島川の駅ネットワーク推進事業
		LEDが魅せるまちとくしま推進事業
		とくしままちなか花ロードproject「花植え会」
		道路メンテナンス事業
		すいすいサイクル事業

主要事業の概要

街へ行きたくなる“場面”づくり

R2~R4

徳島駅前再生事業

JR徳島駅前のアミコビルについて、徳島県青少年センターの機能移転やテナント誘致に向けた施設改修など、そごう徳島店の閉店後における徳島駅前の再生に向けた支援を行います。



街を巡りたくなる“動線”づくり

H8~

ひょうたん島周遊船運航事業

中心市街地を流れる新町川と助任川に囲まれた「ひょうたん島」の周囲約6kmを巡る周遊船の定期運航を行うとともに、夏季に屋形船でのイベントを実施します。



街に住みたくなる“空間”づくり

R3~R8

新町西地区市街地再開発事業

JR徳島駅と阿波おどり会館を結んだシンボルゾーンの中間に位置する新町西地区において、集合住宅・宿泊施設・商業施設・川の駅等を整備する民間主導の再開発事業を推進します。



街へ行きたくなる“場面”づくり

R2~R8

徳島文化芸術ホール(仮称)整備事業

中心市街地のランドマークとなる新ホールを県市協同で整備するとともに、その他周辺環境整備を行うことにより、来街者を増加させます。整備後は徳島ならではの文化・芸術発信に加え、各種コンベンションなどの集客拠点として活用します。



街を巡りたくなる“動線”づくり

R4~

フィールドアトラクション発掘・発信事業

これまで観光コンテンツとして注目されていなかった中心市街地の地域資源を使った体験プログラムを磨き上げ、街を回遊する楽しみ方を発掘・発信します。



街に住みたくなる“空間”づくり

R1~

移住促進事業

移住交流支援センターの運営や移住希望者に対する支援等を実施するとともに、ワーキングホリデーや本市の地域資源を生かした移住促進策を展開します。



計画に掲げる目標及び目標指標

基本方針	目標	目標指標名	基準値 (令和2年度)	推計値 (令和8年度)	目標値 (令和8年度)
1 街へ行きたくなる“場面”づくり	来街者数の増加	ランドマーク施設来館者数※	2,441千人	2,589千人	3,741千人
2 街を巡りたくなる“動線”づくり	回遊者数の増加	まちなか歩行者通行量 (平日・休日平均)	15,697人	16,494人	20,807人
3 街に住みたくなる“空間”づくり	居住者数の増加	まちなか居住者数	7,546人	7,158人	7,567人

※ 本計画におけるランドマーク施設は阿波おどり会館、アミコビル、徳島文化芸術ホール(仮称)の3施設とします。

街にはそこに住む人々が培ってきたアイデンティティがあり、長い歳月をかけて育んだ文化があります。徳島の人々にとっては当たり前でも、そういった文化や地域資源を大切にしながら、地方都市がそれぞれ特色あるまちづくりを進めていくことが大切だと考えています。

新ホールの整備やアミコビルの再生など新たな光が差し込み始めた今、本市では、中心市街地の再生を確かなものとするため、徳島商工会議所をはじめとする多くの関係機関のご協力を得ながら「徳島市中心市街地活性化基本計画」を策定しました。

これからも街に関わろうとする皆さんと手を取り合い、「わくわく実感！水都とくしま」の創造に向けたまちづくりを進めていきますので、皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



徳島市長
内藤 佐和子